

環境まちづくり実施報告書

様式3

令和 6 年 4 月 19 日 (2024 年)				
吹 田 市 長 あて	住所 大阪市北区角田町1番1号東阪急ビルディング内 氏名 阪急阪神不動産株式会社 住宅事業本部長 古谷慎一 ※注1 電話 (06) 6313 - 3341 事業所 住所 大阪市西区土佐堀一丁目4番14号 氏名 エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社 取締役関西支店長 松本順一 電話 (06) 6441 - 0022			
受 付 番 号	03-L-05			
事 業 の 名 称	(仮称)吹田市垂水町1丁目 新築工事			
対 象 事 業 区 域	吹 田 市 垂水町一丁目336番4 336番15			
※注1 設 計 ・ 代 理 者	住 所 大阪市中央区安土町3-4-5 本丸田ビル6階 氏 名 株式会社タクトプラン建築事務所大阪 高田 実 電 話 () - (担当者:)			
※注1 工 事 施 工 者	住 所 大阪市中央区北浜2-2-22 氏 名 不二建設株式会社 取締役副社長執行役員関西支社長 船橋 慶一郎 電 話 (06) 6228 - 6600			
事 業 予 定 期 間	令和 4 年 (2022 年) 8 月 上 旬 日 から 令和 6 年 (2024 年) 4 月 下 旬 日 まで			
事 業 の 規 模	計 画 部 分	既 存 部 分	合 計	
	対 象 事 業 面 積	1,973.36 m ²	m ²	1,973.36 m ²
	建 築 面 積	942.80 m ²	m ²	942.80 m ²
	延 べ 面 積	3,909.80 m ²	m ²	3,909.80 m ²
	最 高 の 高 さ	18.58 m	m	
	構 造 ・ 階 数	鉄筋コンクリート 造・一部 造 地 上 6 階 ・ 地 下 階		
事 業 の 目 的 ・ 内 容	区分 ☒ 新 築 ☐ 増 築 ☐ 改 築 ☐ 新 設 ☐ 増 設 ☐ 開発行為事業(目的 :) ☒ 建築物の新築又は増改築の事業 (☐ 工 場 ・ 事 業 場 ☒ 住 宅 ・ 共 同 住 宅 (51 戸) ☐ 商 業 施 設 ☐ 事 務 所 ☐ 公 共 的 建 築 物 ☐ そ の 他 ()) ☐ そ の 他 ()	受 付		
	環 境 ま ち づ く り の 内 容	ガイドライン取組事項チェックリストによる		
添 付 書 類	・ガイドライン取組事項チェックリスト ・工事関連車両通行ルート図 ・その他必要と認める図書		第 号	

注1 法人にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針	阪急阪神不動産では阪急阪神ホールディングスグループサステナビリティ宣言に基づき、事業を通じて社会課題の解決に努め、持続的な企業価値の向上、ひいては持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。
当該事業における環境まちづくり方針	省エネルギーによる環境負荷低減に努め周辺環境との調和に配慮したマンションづくりを行います。 計画においては敷地内緑化に努め、建設時には廃材の分別リサイクルに努めます。

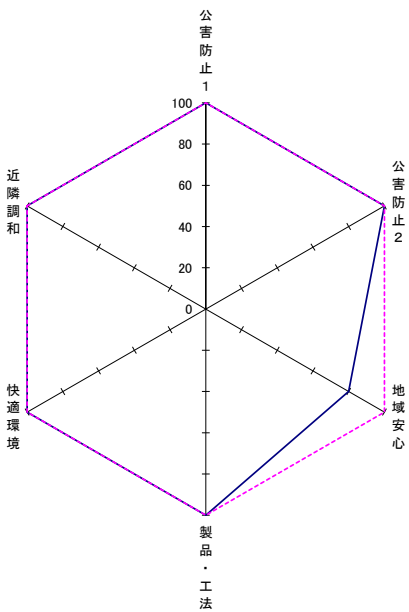
1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

実施率 97.9 パーセント
(小数点第2位以下切り捨て)

実施した・一部実施したの項目数 = 48
該当なしを除いた項目数 49

----:方針, -:実施報告書



実施報告書	公害防止 1	公害防止 2	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
	20	13	4	3	5	3
方針	公害防止 1	公害防止 2	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
	20	13	5	3	5	3

主な実施内容

排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械を使用しました。
工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じました。
資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。

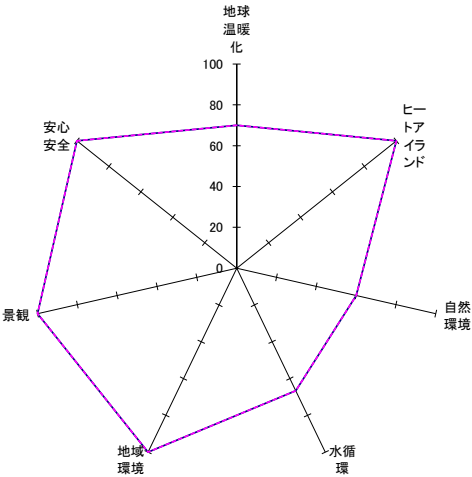
環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率 85.7 パーセント
(小数点第2位以下切り捨て)

実施した・一部実施したの項目数 36
該当なしを除いた項目数 42

---:方針, -:実施報告書



実施報告書	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	7	2	3	2	11	4	7
	10	2	5	3	11	4	7

方針	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	7	2	3	2	11	4	7
	10	2	5	3	11	4	7

主な実施内容

(1) 省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入 CO2削減量 27.6 t-CO2/年

導入内容

省エネルギー型給湯器(エコジョーズ 51台)とLED照明(520台)を採用しました。

(2) 緑地面積 緑化率 24.0 % 条例基準分 20.0 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

特にありません。

(3) 雨水利用 雨水貯留量 t うち雨水利用量 t

利用目的 ☐ 直栽水やり ☐ トイレの流し水 ☐ 洗車 ☐ その他

(4) 上記以外の主な実施内容

雨水流出を抑制するために雨水浸透柵(28ヶ所)を設置しました。
共用部分に間伐材を意匠材として採用しました。
再配達によるエネルギー消費を減らすため、宅配ボックスを設置しました。

環境まちづくりの概要(3)

2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容		修正後のチェック内容
42	一部実施する		実施しない

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚染や騒音などの公害を防止します。		
建設機械		
1 低公害型建設機械の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械を使用しました。
2 低燃費型建設機械の使用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	低燃費型の建設機械(ハイブリット式パワーショベルなど)は一般普及していないため可能な限り使用しました。
3 アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
4 環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
5 稼働台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
6 工事の平準化	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。
7 機械類の整備点検	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	機械類は適切に整備点検を行いました。
工事関連車両		
8 低公害、低燃費車の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しました。
9 大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守しました。
10 工事関連車両の表示	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両であることを車両に表示しました。
11 周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地条件などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯、下校時は学年による時間の違い、短縮授業による違い等、様々な状況が予測されるため、できる限り避けて設定しました。
12 建設資材の搬出入における車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制しました。
13 通勤等で利用する車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しました。
14 土砂の積み降ろし時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しました。
15 タイヤ洗浄	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に配慮しました。
17	場外待機の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両を場外に待機させませんでした。
18	クラクションの使用抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。
19	アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
20	環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
工事方法 騒音・振動等			
21	防音シートなどの設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設作業時は、仮囲いと養生シートを設置しました。なお、必要に応じて防音シートや防音パネルの設置等、さらなる防音対策を行いました。
22	丁寧な作業	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用しました。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行いました。
粉じん・アスベスト			
25	粉じん飛散防止対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への粉じん飛散を防止するため、掘削作業、土砂等の堆積場の設置等を行った際は、散水等の粉じん飛散防止対策を行いました。
26	アスベストの調査など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	解体が無いため。
27	アスベスト飛散防止対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	解体が無いため。
水質汚濁・土壌汚染・地盤沈下			
28	濁水や土砂の流出防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
29	塗料などの適正管理及び処分	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は適正に処分しました。
30	土壌汚染対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	形質変更面積が3000㎡未満であり、法令の対象外であるため。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
31	地盤改良時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	セメント及びセメント系改良剤を使用する地盤改良の際は、六価クロム溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工しました。
32	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用しました。
悪臭・廃棄物			
33	アスファルト溶解時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気対策を行いました。
34	現地焼却の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	現地では廃棄物などの焼却は行いませんでした。
35	解体時の環境汚染対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	解体が無いため。
36	仮設トイレ設置時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	仮設トイレを設置した際は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を行いました。
37	産業廃棄物の適正処理	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設工事から生じる産業廃棄物は、適正に処理を行いました。
地域の安全安心に貢献します。			
38	地域との連携における事故の防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故防止に努めました。
39	児童などへの交通安全の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
40	夜間や休日の防犯対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じました。
41	児童などへの見守り、声かけ	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	登下校中の児童や生徒の見守りに可能な限り取り組みました。声かけは実施しませんでした。
42	地域の防犯活動への参加	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	地域からの要望が無かったため、地域の防犯活動への参加はしませんでした。
環境に配慮した製品及び工法を採用します。			
省エネルギー			
43	エネルギー消費の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネルギー効率のよい機器の利用などにより、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制しました。
省資源			
44	残土発生の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制しました。
45	廃棄物の減量	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
快適な環境づくりに貢献します。		
景観		
46 仮囲い設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、安全面、機能性を確保した上で、景観面にも配慮しました。
47 仮設トイレ設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを工夫しました。
周辺の環境美化		
48 周辺道路の清掃	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行いました。
49 場内整理	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材、廃棄物などは適正に管理し場内整理を行いました。
ヒートアイランド現象の緩和		
50 打ち水	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夏期において水道水を確保し、周辺道路などに打ち水を行いました。
地域との調和を図ります。		
工事説明・苦情対応		
51 工事内容の事前説明及び周知	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施中も適宜、現況と今後の予定をお知らせしました。
52 苦情対応	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事に関する苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応しました。
周辺の教育・医療・福祉施設への配慮		
53 工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	周辺に該当施設が無いため。
54 騒音、振動などの配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	周辺に該当施設が無いため。
周辺の事業者との調整		
55 複合的な環境影響の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施工者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めました。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温暖化対策を行います。		
56 大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度の活用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結果(B+)を得られるよう努めるとともに、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度により広告物などに表示しました。
57 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)設計	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上、実施しませんでした。
58 高効率及び省エネルギー型機器などの採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	省エネルギー型給湯器(エコジョーズ 51台)とLED照明(520台)を採用しました。
59 再生可能エネルギーの活用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上、実施しませんでした。
60 エネルギー効率の高いシステムの導入	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	住戸の給湯機器・省エネルギー型給湯器(エコジョーズ 51台)を採用しました。
61 エネルギーを管理するシステムの導入	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上、実施しませんでした。
62 冷媒漏えい(使用時排出)の防止	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する設備(空調機器、冷蔵冷凍庫など)を設置しなかったため。
63 建築物のエネルギー負荷の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	採光や通風性の考慮やペアガラスを採用し断熱性能を向上させることで、建築物のエネルギー負荷を抑制しました。また、住宅性能表示制度の断熱等性能等級4を取得しました。
64 長寿命な建築物の施工	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工しました。
65 環境に配慮した製品の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	共用部分に間伐材を意匠材として採用しました。また、熔融スラグ入のインターロッキングを使用しました。
66 宅配ボックスの設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	再配達によるエネルギー消費を減らすため、宅配ボックスを設置しました。
ヒートアイランド対策を行います。		
67 建物屋根面、壁面の高温化抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建物の屋根面(400㎡)へ高反射率塗料を塗布し、屋根面の高温化を抑制しました。
68 地表面の高温化抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	敷地東側の通路部分には保水性のあるインターロッキング(35㎡)を使用しました。
自然環境を保全し、みどりを確保します。		
69 動植物の生息や生育への配慮	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	吹田市開発事業の手続き等に関する条例に定める基準(20%)に対して緑化率24%の緑化を行い、動植物の生息や生育環境に配慮しました。
70 地域のシンボルツリーの保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	該当する樹木が無いため。
71 既存の植生の保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	該当する植生が無いため。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
72	地域に応じたみどりの創出	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	計画地周辺の垂水神社の樹々を連想させる樹木を植樹し、地域に応じた創意工夫によりみどりを創出し、良好な景観や生物の生育空間の形成に努めました。
73	駐車場緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	維持管理が困難なため採用しませんでした。
74	屋上緑化など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	維持管理が困難なため採用しませんでした。
75	法面緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	該当する法面が無いため。
76	植栽樹種の選定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	植栽樹種は、地域の環境に合わせた樹種を選定しました。
水循環を確保します。			
77	水資源の有効利用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上、実施しませんでした。
78	雨水流出を抑制する施設の設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	雨水流出を抑制するために雨水浸透柵(28ヶ所)を設置しました。
79	雨水浸透への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	雨水浸透に配慮し、雨水浸透柵(28ヶ所)を設置しました。
地域の生活環境を保全します。			
大気・騒音・振動等			
80	騒音や振動を発生させる設備設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空調機などの騒音や振動を発生させる設備の設置においては、低騒音型機器の採用、壁などの遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音や振動対策を行いました。
81	住宅における防音サッシ等の設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近くに幹線道路や鉄道があり入居者に騒音の影響が考えられる場合には、あらかじめ窓などに防音サッシ等を設置しました。
82	駐車場の配置計画時の配慮	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺環境への自動車の排気ガスに配慮し、駐車場の背面に目隠しフェンスを設置しました。
83	近隣への悪臭及び騒音の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、換気扇、排気口の位置、廃棄物置場の構造などに配慮しました。
84	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	該当する機器の設置がなかったため。
85	屋外照明や広告照明設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	屋外照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制しました。
86	建築資材による光の影響の考慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建築資材(ガラスなど)による太陽の反射光については、設置の際に光の影響を考慮しました。
87	環境に配慮した塗料の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。
88	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	周辺に該当施設が無いため。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)		
89 日照障害対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	日照障害については、建築基準法の日影規制対象外地域(商業と工業地域を除く)を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明するとともに、できる限りその軽減をしました。
90 電波障害の事前把握及び近隣説明	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	電波障害の発生が想定される範囲を現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。
91 電波障害発生時の改善対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	電波障害が生じたため、都市型CATVを利用した再送信工事を行いました。
92 プライバシーの配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	開口部に可動ルーバー面格子を設置して近隣住民のプライバシーに配慮しました。
景観まちづくりに貢献します。		
93 地域への調和	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮しました。
94 景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を行いました。
95 景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画と設計を行いました。
96 重点地区指定に向けた協議	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	1haを超えないため。
97 景観形成基準の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
98 屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	屋外広告物の設置がなかったため。
安心安全のまちづくりに貢献します。		
99 歩行者が安全に通行できる工夫	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建物出入口、駐車場出入口を道路から控えることで、歩行者の安全への配慮を行いました。
100 災害に対する建築物・工作物の強靱性を高める取組	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	柱、梁等の主要構造部は鉄筋コンクリート造としました。
101 災害時の自立性を維持する取組	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	共用部に防災備蓄倉庫を設置しました。
102 災害時に備えた地域等との連携に関わる取組	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	本事業区域は浸水想定区域に所在しているため、入居者に対しハザードマップの周知を徹底しました。
103 災害時の避難や救助等の応急対応に関する取組	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	AEDを設置しました。
104 犯罪を発生させない都市(まち)づくりに関する取組	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	1階の共用部に極力死角ができないように防犯カメラ(6台)を設置しました。
105 犯罪に備えた地域等との連携に関わる取組	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	犯罪に備えた地域の取り組みに参加するように入居者に周知致しました。